

建国祭

皇紀二千六百七十六年

平成二十八年二月十一日
「建国記念の日」に皇紀二千六百七十六年にあたる建国祭が行われました。

水野祭員による開式の辞の後、檀原神宮及び皇居に向かって遥拝し、国歌斉唱並びに「雲に聳ゆる高千穂の…」と紀元節祝い歌を斉唱しました。

神殿では、禰宜による修祓及び献饌の祝詞をあげ、鈴払いをして戴き、全員で玉串奉奠を行いました。

禰宜より挨拶の後、岡村会長より「建国祭」についての話がありました。最後に万歳三唱で閉式となりました。



紀元節祝い歌を齋唱

祈年祭

鎮火祭



大祓の詞を全員で奏上

二月二十三日(火) 十時より奉賛会会員、地区総代及び婦中方面団 鵜坂分団幹部が出席して行われました。

鎮火祭は、一年の防火防災を祈願する神事で、「ほしづめのまつり」とも呼ばれ、奈良時代から始まったと伝わり、神職の大祓の詞(おおはらえのことば)が奏上されています。火災を起さないように「鎮火祭祈攸」のお札を各家庭に配布されます。

祈年祭は(としごいのまつり)とも呼ばれ、一年の五穀豊穰などを祈る神道の祭祀です。国の平安を祈り、浦安の舞が奉納されました。

役員活動報告

8回 富山市
第6総 神社総代会

三月二十四日(木)十四時よりホテルグランテラス富山に於いて、二百名を超える参加者で、総会が行われました。

総代会より、顕著な活動を行った九名の方が表彰されました。(土宮神社・大場神明社・火之宮八幡社・三室神社・貴船社・八幡社・少彦名社・姉倉比賣社2名)

富山県神社庁からの来賓祝辞の後、事業報告・決算報告及び来年度の事業方針案・予算案が可決されました。意見発表では、多久比禮志



高木富山市神社総代会会長の挨拶

神社 禰宜 林貞文氏から「三ヶ年継続神宮大麻都市頒布向上計画」の報告が有りました。富山県は、神宮大麻頒布総体数が日本一ではあるが、毎年減って来ており、実

春祭り 春季例祭 獅子舞・子供神輿

践目標として掲げている頒布に努力している発表でした。確かに、何か手を打つ必要が有ると感じました。終了後、和やかに直来会が行われました。



田島青年会の獅子舞

鵜坂町内会から奉納。獅子舞は、上巒田青年会、田島青年会から奉納されました。

神輿の口上は、小学生が元氣よく読み上げて大きな拍手を受けていました。今年も豊作でありますように祈りました。

四月二十九日(昭和の日)春季例祭が行われました。天候が悪く、今日はどうなることかと気をもんで居ましたが、夜半から晴れて祭りは行われました。

神輿は、上田島青年会、羽根新・親和会、分田町内会、

